

会議録

会議の名称	令和7年度 第1回和泉市教育委員会評価委員会		
開催日時	令和7年5月15日（木）午前10時00分～午前11時20分		
開催場所	和泉市役所3A・3B会議室		
出席者	教育委員会評価委員 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂 委員 川口 厚 教育委員会事務局 参与 教育次長兼生涯学習部長 生涯学習部 次長兼文化遺産活用課長 生涯学習推進室長 生涯学習推進室生涯学習担当課長 生涯学習推進室スポーツ振興担当課長 生涯学習推進室青少年センター所長 文化遺産活用課長補佐兼文化遺産活用係長 久保惣記念美術館総括参事兼副館長 教育・こども部 部長 学校教育担当次長兼学校園管理室長 教育総務課長 教育総務課長補佐 教育総務課企画係長 教育総務課総務係主事 並木 敏昭 辻 公伸 森下 徹 前田 志織 橋本 吉人 富岡 大作 藤原 寛 山千代 政史 橋詰 文之 東 直樹 鍛冶 公哉 奥 信介 大西 薫 吉田 昌史 西川 世理奈		
会議次第	1.開会 2.教育次長あいさつ 3.評価委員紹介 4.職員紹介 5.スケジュール確認 6.生涯学習部ヒアリング（1）久保惣記念美術館 （2）文化遺産活用課 （3）生涯学習推進室		
ヒアリング内容			
取組項目番号16 平良委員長	様々な団体で構成員の高齢化により後継者不足が問題になっていることを受け、いずみ市民大学受講生の年齢層について教えてほしい。		
橋本課長	高齢の方は一定数いるものの、若い方も受講し地域活動に活かしていただいている。		
川口委員	令和6年度の事業評価③に記載している日本語学習機会の場について、受講生の		

橋本課長	国籍や年齢層などについて教えてほしい。
取組項目番号17 杉田委員	幅広い国籍や年齢層の方に参加いただいているが、詳細の資料がないため後日改めて回答する。
橋本課長	PTAの活動状況や地域と行政の連携状況について教えてほしい。
取組項目番号18 平良委員長	PTAの活動状況については、学校の実情に応じ、一部の学校で廃止や市PTA協議会を休会しているところもある。詳細については、第2回委員会において説明する。
富岡課長	取組の成果における達成率が令和4年度1253.7%、令和5年度△48.0%、令和6年度317.3%となっていることについて、適正に評価ができるよう、目標値の修正について検討いただきたい。
杉田委員	検討し、第3回委員会において報告する。
取組項目番号19 平良委員長	施設においては安心・安全に使用していただくことが重要なので、外部から見えるものだけではなく、しっかりと点検等を行うことをお願いしたい。
鍛冶次長	部活動の地域移行については、指導者確保が課題だと考えている。 和泉市における取組みについて教えていただきたい。
川口委員	庁内の取組としては、学校教育室児童生徒支援担当、生涯学習推進室スポーツ振興担当、生涯学習担当、教育総務課が事務局を担い、部活動地域移行計画の策定に取り組んでいる。 部活動地域移行計画策定委員会については、大学教授、体育協会、文化協会、スポーツ推進委員協議会、中学校長会、中学校体育連盟の各代表に参画いただき、学校部活動の活動状況を共有するとともに、スポーツ、文化各団体で部活動指導員のマッチングが可能かなどについて検討している。 部活動指導員については学校教育室で報酬を予算計上しているため、第2回委員会において説明する。
	部活動地域移行について、国が部活動の在り方を検討するにあたり、海外の事例も参考にしていると思うが、日本と外国では部活動の環境が異なり、日本の場合は無理に地域移行を進めようとする、人材や予算の確保といったことが課題となり進められなくなることが想定される。

取組項目番号20 平良委員長	1970 年代に日本の部活動の地域移行を進めたことがあったが、保険加入にかかる予算の確保ができず、従来の学校での部活動に戻したという事例がある。 現在も地域移行にあたっての課題は想定されるので、急いで地域移行を進めるよりも他市事例などを注視しながら緩やかに進めていった方が、結果的には学校や地域のためなると考えている。 文化芸術活動の場において子どもたちが日頃の練習の成果を発表し活躍できる場を多く作っていただきたい。
取組項目番号21 平良委員長	歴史公文書の管理については、専門的な知識を有した職員が必要であることから、しっかりとした職員体制をとっておく必要がある。
取組項目番号22 平良委員長	先進事例として挙げている高槻市安満遺跡公園の取組みについては、本市の取組みにおいても十分参考にしていただきたい。
取組項目番号21・22 杉田委員	取組項目番号 21 と 22 は事業の性質や課題などが似通っており、取組みや課題・改善策について切り分けが難しく統一的に見たほうが分かりやすいと感じた。 取組項目を分けることで達成目標の設定が難しくなり、特に取組項目番号 22 については達成率が低い結果がでているのではないかと考える部分もある。 この点については、点検・評価報告書全般に渡る課題として提案する。
取組項目番号24 平良委員長	少年の非行・被害防止にかかる取組みについては保護者に直接伝える方法がより効果的と考えているので検討いただきたい。
取組項目番号27 平良委員長 川口委員	講演会やワークショップについては、今後も魅力的な取組みをしていただきたい。 令和5年度の課題と改善策に示した Wi-Fi の設置は完了したという理解でよいのか。 また、令和6年度の事業評価③において、「利用者アンケートを実施し、利用環境の改善を図った」とあるが、このアンケートにおいて Wi-Fi の環境整備について意

	見があれば紹介いただきたい。
橋本課長	Wi-Fi の整備は令和 5 年度で完了している。 また、アンケートにおいて、Wi-Fi の整備が利用の拡大に繋がったと回答を得ている。
取組項目番号 28	
平良委員長	学校図書館と市立図書館の統一システム導入のメリットについて教えてほしい。
橋本課長	学校図書館と市立図書館を連携することで、学校で子どもたちが本を検索する際に、市立図書館の蔵書も検索することができる。 また、教科書に掲載されている図書が検索できるシステムを導入することにより、新たな学習機会の提供に繋がると考えている。
平良委員長	導入のメリットは理解するが、多大な経費が見込まれるとのことなのでしっかりと検討いただきたい。
取組項目番号 29	
平良委員長	事前質問に対する回答にある「航空券等手配業務委託料の落札差金」について、詳細を教えてほしい。
橋本課長	予算措置の段階では個人申込した場合の費用として積算していたが、入札の結果、団体申込の費用で落札されたことで差金が大きくなった。 以上